

平成 23 年度事業報告書

自 平成 23 年 6 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

一般財団法人 新技術振興渡辺記念会

一般財団法人 新技術振興渡辺記念会

平成 23 年度 事業報告書

(平成 23 年 6 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで)

I. 概 況

平成 23 年 6 月 1 日に新公益法人制度に於ける一般財団法人としてスタートした。事業としては新定款に記載する科学技術に関する調査研究とその助成、国際交流に対する援助、新技術の振興に業績を挙げた者に対する表彰及びこれ等の普及・啓発に関する各事業を事業計画に則り実施した。

事業資金に関しては、欧州債務危機を初め、円高や東日本大震災等により有価証券の運用による十分な収益をあげることはできなかったが、諸経費の節減に努めるなどで対応した。

その結果、科学技術に関する調査研究（自主事業）11 課題、調査研究助成 17 課題、国際交流への援助 4 課題、顕彰等の普及・啓発 9 課題を実施することができた。

II. 事業内容

1. 科学技術調査研究の実施（自主事業）

次の 11 課題を選定し、調査研究を実施した。（課題の内容は、別表-1(p5)参照）

- 1) 日本の原子力政策史（オーラルヒストリー）
- 2) 我が国の科学技術および産業力強化に関する調査研究
- 3) 富士山頂における東アジア越境オキシダント監視システム構築に関する研究
- 4) 衛星データを利用した古地形・古景観の調査研究
- 5) 東日本大震災の被害者支援・復興支援に関するソーシャルメディア活用の事例調査と研究
- 6) 資源調査会の再評価と現代的意義
- 7) 「科学新聞」のデータベース構築（4）－昭和 26～27 年の記事対象－
- 8) イノベーションの加速に向けた統合型情報基盤の形式に関する調査研究
－北海道における畜産排泄物利活用に高度化－
- 9) 科学技術調査研究助成事業・平成 21 年度採択課題の追跡調査
- 10) 世界大学ランキング 2010－日本の大学の動向－
- 11) 2011.3.11 東北地方太平洋沖 M9.0 地震による東電福島第 1 原発事故に関する風評被害
－主としてマスメディア情報に基づく－（仮）

以上の調査研究の総額は、36,101,229 円となった。

2. 科学技術調査研究の助成

調査研究助成は、本年度下期 17 課題（応募 25 課題）課題に対し総額 35,780,000 円の助成を実施した。（助成課題は別表・2(p7)参照）

3. 科学技術国際交流の援助

4 課題の研究者に対し、総額 11,650,000 円の国際交流への援助を行った。
（課題は別表・3(p8)参照）

4. 科学技術振興のための普及・啓発の推進

シンポジウム等の開催及び顕彰に関する 9 課題に対し 7,792,397 円の支出を行なった。
（課題は別表・4(p9)参照）

5. 収益（賃貸）事業

財団が所有している浜松町 NH ビル(地上 8 階、地下 1 階) 及び浜松町 NH ビル別館(地上 5 階) の賃貸事業を行った。賃貸フロアーは次の通り。

浜松町 NH ビル（賃貸 6 テナント・8 フロアー）

浜松町 NH ビル別館（賃貸 4 テナント・4 フロアー）

III. 理事会の開催

(1) 第 1 回理事会

開催日時 平成 23 年 6 月 17 日（金）15 時 30 分～16 時 55 分

開催場所 財団会議室

議決事項 1) 平成 22 年度事業報告書及び決算報告書の承認について
2) 規則の改正及び新規規則の制定について

(2) 第 2 回理事会

開催日時 平成 23 年 8 月 18 日（木）13 時 30 分～15 時 10 分

開催場所 財団会議室

議決事項 1) 財団法人新技術振興渡辺記念会平成 23 年度(平成 23 年 4 月 1 日～5 月 31 日) 事業報告書及び決算報告書の承認について
2) 一般財団法人新技術振興渡辺記念会平成 23 年度(平成 23 年 6 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日) 事業計画書及び収支予算書の承認について
3) 公益目的財産額の確定について
4) 退職理事(大澤弘之氏)への退職慰労金支給について
5) 顧問の選任について

(3) 第 3 回理事会

開催日時 平成 23 年 10 月 14 日（金）16 時 00 分～17 時 15 分

開催場所 財団会議室

議決事項 1) 平成 23 年度科学技術調査研究助成（下期）課題の採択及び助成金額について

(4) 第 4 回理事会

開催時期 平成 24 年 3 月 23 日（金）15 時～16 時 50 分

開催場所 財団会議室

- 議決事項 1) 平成 24 年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について
2) 平成 24 年度上期科学技術調査研究助成課題の採択及び助成金額について
3) 旅費規則の改正について

IV. 評議員会の開催

(1) 第 1 回評議員会

開催日時 平成 23 年 6 月 17 日(金) 13 時 30 分～15 時 10 分

開催場所 財団会議室

- 議決事項 1) 平成 22 年度事業報告書及び決算報告書の承認について
2) 一般財団法人新技術振興渡辺記念会「定款」の一部変更について
3) 役員(新理事)に選任について
4) 規則の制定について

(2) 第 2 回評議員会

開催日時 平成 23 年 8 月 18 日(木) 15 時 30 分～17 時 15 分

開催場所 財団会議室

- 議決事項 1) 財団法人 新技術振興渡辺記念会平成 23 年度(平成 23 年 4 月 1 日～5 月 31 日)事業報告書及び決算報告書の承認について
2) 公益目的財産額の確定について
3) 顧問報酬規則の制定について
4) 評議員及び役員報酬規則の一部改訂について

V. 科学技術振興課題審査委員会の開催

(1) 第 1 回科学技術振興課題審査委員会

開催日時 平成 23 年 9 月 27 日(火) 15 時～17 時

開催場所 財団会議室

- 議事事項 1) 「平成 23 年度科学技術調査研究助成課題」(下期)の選考について

(2) 第 2 回科学技術振興課題審査委員会

開催日時 平成 24 年 3 月 2 日(金)15 時～17 時

開催場所 財団会議室

- 議事事項 1) 「平成 24 年度科学技術調査研究助成課題」(上期)の選考について

VI. 資産運用委員会の開催

(1) 第 1 回資産運用委員会

開催日時 平成 23 年 12 月 21 日(木) 15 時～17 時 15 分

開催場所 財団会議室

- 議事事項 1) 新公益法人制度への移行について
2) 平成 23 年度(平成 23 年 4 月～5 月)決算及び平成 23 年度(平成 23 年 6 月～平成 24 年 3 月)予算について
3) 資産の運用状況について

Ⅶ. 科学技術調査研究助成課題の成果報告会の開催

(1) 平成 22 年度上期助成課題成果報告会

開催日時 平成 23 年 9 月 15 日 (木) 14 時～19 時

開催場所 法曹会館

報告課題 12 課題

出席者 助成課題申請者・その関係者、当財団の役員、評議員及び課題審査委員等

(2) 平成 22 年度下期助成課題成果報告会

開催日時 平成 24 年 3 月 15 日 (木) 13 時～19 時

開催場所 法曹会館

報告課題 17 課題

出席者 助成課題申請者・その関係者、当財団の役員、評議員及び課題審査委員等

Ⅷ. 理事、監事、評議員の委嘱

役 員	評 議 員	
平成 23 年 4 月 1 日～ 定款第 28 条に定める日	平成 23 年 4 月 1 日～ 平成 23 年 5 月 31 日	平成 23 年 6 月 1 日～ 定款第 14 条に定める日
理事長 武 安 義 光 理 事 川 崎 雅 弘 * 木 村 茂 行 児 玉 柳 太 郎 高 園 武 治 中 西 友 子 藤 岡 宏 衛 渡 邊 美 津 子 監 事 神 林 留 雄 木 下 亨	上 田 三 郎 緒田原 涓 一 鍵 山 真 由 美 川 崎 雅 弘 倉 本 昌 昭 佐 藤 征 夫 島 弘 志 島 田 博 文 鈴 木 龍 男 長 澤 榮 一 吉 本 誠	緒田原 涓 一 鍵 山 真 由 美 川 崎 雅 弘 * 金 原 和 夫 倉 本 昌 昭 齋 藤 伸 三 佐 藤 征 夫 島 田 博 文 森 田 一 樹 吉 本 誠

*就任 (平成 23 年 6 月 18 日)

*退任 (平成 23 年 6 月 17 日)

(注) 定款第 14 条：評議員の任期は、選任後 4 年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

同 第 28 条：理事の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。(監事 同)

(別表) 平成23年度科学技術調査研究、調査研究助成、援助等に関する一覧

別表-1 科学技術調査研究の実施(自主事業)

交付番号	課 題	内 容	実施機関
R-H22-63 (継続)	日本の原子力政策史 (オーラルヒストリー)	前年度に引続き、原子力開発のスタートの時点から行政に携わってきた学識経験者を中心にオーラルヒストリーの形でまとめる作業を続けている。	(一財)新技術振興渡辺記念会
R-H23-64	我が国の科学技術および産業力強化に関する調査研究 ー技術のメガトレンドとビジネスモデルから将来の方向を探るー	前年度のファクトファインディングス(実態分析)の成果を活用しつつ、今後の科学技術政策力経営戦略を検討する上で重要な技術のメガトレンドと関連するビジネスモデルについて探究する。	(社)科学技術と経済の会
R-H23-65	富士山頂における東アジア越境オキシダント監視システム構築に関する研究 ー通年観測への里程と国際ネットワークの増強ー	通年自由対流圏の状態にある富士山頂において、東アジアに広がる大気汚染物質動向の監視システム構築を目指して、各期間の発電による通年・無人観測を検討するとともに、地球規模の観測データを得るため、欧米の観測機関と連携する。	(NPO)富士山測候所を活用する会
R-H23-66	衛星データを利用した古地形・古景観の調査研究	衛星データの利用を、地上標高データと海底地形データとを統合してソフトウェアを開発し、古地形・古景観の復元を目標として、人文学分野の研究者にも十分活用できるよう調査研究を進める。	(財)リモート・センシング技術センター
R-H23-67	東日本大震災の被害者支援・復興支援に関するソーシャルメディア活用事例調査と研究	平成23年の東日本大震災において、ソーシャルメディアが情報の発信力・伝播力等により、被災者の安否確認、復興活動支援等に活用された。これらの事例を広く調査し、活用の実態を分析・評価することにより、さらなる活用に向けての提言を行う。	(社)新技術協会
R-H23-68	資源調査会の再評価と現代的意義	資源調査会は1947年12月以降、数々の勧告、報告を発表し、国土利用の在り方に優れた政策提言を行った。戦後史に果たした同調査会の意義を再評価するとともに、現代においてどう発表すべきかを調査する。	(一財)新技術振興渡辺記念会
R-H23-69	「科学新聞」のデータベース構築(4) ー昭和26～27年の記事対象ー	戦後約20年間の『科学新聞』の記事のデータベース化を目指し、これまでに昭和21～25年の記事がデータベース化されたのを受け、今年度は昭和26～27年の記事のデータベースを構築する。	(株)科学新聞社
R-H23-70	イノベーションの加速に向けた統合型情報基盤の形式に関する調査研究 ー北海道における畜産排泄物利活用に高度化ー	各地域に共通する分野の技術の高度化に向けた統合型情報基盤の形成に関し、北海道を中心とする畜産排泄物利活用技術に着目し、その高度化に関する技術を調査・分析して、統合型情報基盤の新たなデータとして提出して行く。	(財)全日本地域研究交流協会
R-H23-71	科学技術調査研究助成事業・平成21年度採択課題の追跡調査	当財団の科学技術調査研究助成事業に関し、調査研究が終了した21年度採択課題を対象にしたアンケート調査・面接調査により、各課題の実施状況、展開状況等を把握するとともに本事業の有効性・改善点等を明らかにする。	(社)新技術協会

R-H23-72	世界大学ランキング 2010 ー日本の大学の動向ー	前年度実施の自主研究「世界大学ランキングの意味ー日本の将来への影響と対策ー」の結果、日本の大学は種々の問題を抱えているため刷新なしには競争力の現状維持すら容易ではないことが判明、この1年間の新データを用いてフォローアップする。	(一財)新技術振興渡辺記念会
R-H23-73	2011.3.11 東北地方太平洋沖M9.0 地震による東電福島第1原発事故に関する風評被害 ー主としてマスメディア情報に基づくー (仮)	3.11 原発事故関連の風評・被害情報を主としてマスメディアを通して収集・整理・分析すると同時に、風評被害に影響を及ぼした事項と関連する諸問題について考察し、将来発生が否定できない類似事故の風評被害対策に資する。	(一財)新技術振興渡辺記念会

合計 11課題

別表-2 科学技術調査研究の助成

交付番号	調査研究課題名	申請者 所属機関
H23-273	放射性セシウムのモニタリングに関する調査研究	東京大学 生物生産工学研究センター
H23-274	リスク危機管理など新しい観点からの科学と技術の特性に関する研究	千葉科学大学 危機管理学部
H23-275	ロボット機材を使って小中学生に工学への興味を持たせる手法とその効果の検証	高知工業高等専門学校 機械工学科
H23-276	高齢者の社会参加促進に必要とされる科学技術に関する調査研究	静岡大学 人文学部
H23-277	旧余部橋りょうに学ぶ鋼橋の長寿命化のための維持管理技術に関する調査研究	徳山工業高等専門学校 土木建築工学科
H23-278	科学技術の活用における工業会の役割と機能に関する国際比較研究	高知大学教育研究部
H23-279	衛星ハイパースペクトル・SAR解析による土地被覆抽出とその応用に関する調査研究	(一財) リモート・センシング技術センター
H23-280	科学館での特別展示用巡回展示物の活用の実態と、今後の巡回展示のあり方を探る調査	(財) 日本宇宙フォーラム
H23-281	先端的中性子ビーム利用技術の産業利用促進のための理解度促進プログラムの調査研究	(財) 放射線利用振興協会
H23-282	大規模スーパーコンピュータを活用した危機対応における新しい意思決定法の調査研究	(財) 高度情報科学技術研究機構
H23-283	日本のものづくりにおけるナノ粒子・ナノ構造の活用に関する研究開発動向と課題	(社) 未踏科学技術協会
H23-284	ITによる予防型医療へ向けた産業視点のロードマップ作成	(社) 科学技術と経済の会
H23-285	外国人研究者のための震災支援マニュアルおよび情報伝達に関するモデル開発	(社) 科学技術国際交流センター
H23-286	レアアースのバイオ技術を活用した回収法に関する調査研究	(社) 新技術協会
H23-287	畜産排泄物に着眼したバイオマス・エネルギー利用促進に向けた調査研究	(財) 全日本地域研究交流協会
H23-288	地域文化財保全モデルの研究	室内環境学会
H23-289	次世代電子顕微鏡と高分解能解析技法の研究開発の動向に関する調査研究	(NPO) 総合画像研究支援

下期17課題

別表-3 科学技術国際交流の援助

交付番号	課題名	態様	開催地	申請者
H23国-102	第10回日米先端工学シンポジウム	国際研究集会等開催	大阪大学中之島センター(大阪市北区)	玖野 峰也 (社)日本工学アカデミー
H23国-103	アメリカ植物成長制御学会	海外国際研究集会等参加出張	インターコンチネンタルホテル (アメリカ、シカゴ市)	小林 奈通子 東京大学大学院
H23国-104	科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム	国際研究集会等開催	京都国際会議場 (京都市)	尾身 幸次 STSフォーラム
H23国-105	日中大学フェア&フォーラム・日中学生交流会	国際研究集会等開催	大手町サンケイプラザ(東京都千代田区)	国谷 実 (社)科学技術国際交流センター

合計 4 課題

別表-4 科学技術振興のための普及・啓発の推進

交付番号	名称	態様	主催者、表彰者等
W-H23-46	「黒潮のエネルギーを活用した発電計画」講演会 開催日：平成23年6月21日 会 場：日本財団会議室	講演会共催	(NPO)海ロマン21
IP-H23-17～18	第36回井上春成賞 研究奨励金贈呈 (2件 1件1,000千円) 開催日：平成23年7月20日 会 場：経団連会館	研究者表彰後援	井上春成賞委員会 鈴木 宏治氏 (鈴鹿医療科学大学) 廣崎 尚登氏 ((独)物質・材料研究機構)
W-H23-47	飯綱・サイエンスサマー道場 開催日：平成23年8月17日～19日 会 場：飯綱高原「ホテルアルカディア」	シンポジウム共催	(社)未踏科学技術協会
W-H23-48	はこだて国際科学祭2011 開催日：平成23年8月20日～28日 会 場：五稜郭タワー(函館市)、他	科学祭協賛	サイエンス・サポート函館
W-H23-49	第39回技術・経営シンポジウム 開催日：平成23年9月9日 会 場：日本教育会館	シンポジウム協賛	(社)科学技術と経済の会
W-H23-50	科学技術調査研究助成課題成果報告会(平成22年度上期課題) 開催日：平成23年9月15日 会 場：法曹会館「高砂の間」	助成課題成果報告	(一財)新技術振興渡辺記念会
W-H23-51	地域を生かす科学技術政策研修会 開催日：平成24年1月25日～27日 会 場：ヒルトン福岡シーホーク	講演会協賛	(財)全日本地域研究交流協会
W-H23-52	富士山測候所利活用に関する成果報告会 開催日：平成24年1月29日 会 場：東京大学理学部小柴ホール	講演会後援	(NPO)富士山測候所を活用する会
W-H23-53	科学技術調査研究助成課題成果報告会(平成22年度下期課題) 開催日：平成23年3月15日 会 場：法曹会館「高砂の間」	助成課題成果報告	(一財)新技術振興渡辺記念会

合計 9 事業